

船舶事故等調査報告書

平成26年8月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014仙第27号
事故等種類	座洲
発生日時	平成26年5月18日（日） 11時28分ごろ
発生場所	宮城県東松島市丸山埼東南東方沖 東松島市所在の宮戸 <sup>みやと</sup> 四等三角点から真方位356°780m付近 （概位 北緯38°21.5′ 東経141°08.6′）
事故等調査の経過	平成26年5月20日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	水上オートバイ ヤマ <sup>ヤ</sup> マ <sup>マ</sup> キ <sup>キ</sup> Ⅲ <sup>スリー</sup> 、0.2トン
船舶番号、船舶所有者等	210-56832宮城、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、特殊小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	なし
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、宮城県七ヶ浜町のマリーナを出発し、宮城県利府町浜田漁港において、同乗者1人を座席後部に乗せ、東松島市野蒜 <sup>のびる</sup> 海岸に向け、丸山埼東南東方沖を約20km/hの対地速力で東進中、平成26年5月18日11時28分ごろ船底部を擦るようにして干出した泥地に乗り揚げた。 船長は、乗り揚げた際に大きな衝撃を感じず、船体に損傷も見当たらなかったものの、完全に乗り揚げ、自力離礁できなかつたので、118番通報を行い、本船は、潮位の上昇を待って乗船者及び駆けつけた海上保安部職員に引き出され、自力航行して14時50分ごろマリーナに着岸した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期、潮高 約0cm 東松島市には、本インシデント当時、強風注意報が発表されていた。
その他の事項	船長は、数年前に操縦免許を取得して以降、本インシデント発生場所付近を毎年数十回ほど水上オートバイで遊走していた。 船長及び同乗者は、本インシデント当時、救命胴衣を着用していた。 船長は、本インシデント当時、干潮時刻（12時02分）が近く、水位が低いと感じていたものの、浅所に接近して航行していた。 海図W79によれば、本インシデント発生場所付近は、水深が約0.5m、底質が泥である。

<p><b>分析</b></p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし あり</p> <p>本船は、丸山埼東南東方沖を野蒜海岸に向けて東進中、船長が下げ潮の末期で水位が低いと感じていたものの、浅所に接近して航行したことから、干出した泥地に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本インシデントは、本船が、丸山埼東南東方沖を野蒜海岸に向けて東進中、船長が下げ潮の末期で水位が低いと感じていたものの、浅所に接近して航行したため、干出した泥地に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低潮時には、陸岸から十分に距離を隔てて航行し、水深が浅い海域を航行しないこと。</li> </ul>